

地域経済概況

No.627

2023年7月



国内経済の動き

●月例経済報告（内閣府）【7月】

《景気判断》➡「緩やかに回復している」

- 総括判断は、前回判断を据え置いた
- 個別指標においては「企業の業況判断」について7か月ぶりに上方修正した

(個人消費) ➡ 持ち直している	(設備投資) ➡ 持ち直している
(輸出) ➡ 底堅い動きとなっている	(生産) ➡ 持ち直しの兆しがみられる
(企業収益) ➡ 総じてみれば緩やかに改善している	(企業の業況判断) ➡ 持ち直している
(雇用情勢) ➡ このところ改善の動きがみられる	(消費者物価) ➡ 上昇している

➡…前月から上方修正 ➡…前月判断を据置 ➡…前月から下方修正

●生産動向

■鉱工業指数（確報）【5月】
令和2年（2020年）=100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
生産 (速報値)	103.2 (103.8)	▲2.2	96.7 (97.2)	+4.2
出荷 (速報値)	103.3 (103.9)	▲1.1	94.1 (94.6)	+4.0
在庫 (速報値)	105.6 (105.3)	+1.8	106.4 (106.1)	+7.3

(経済産業省調べ)

- 5月の季節調整済指数（前月比）は在庫において上昇、生産および出荷において低下
- 生産で上昇した業種…生産用機械工業、食料品・たばこ工業、鉄鋼・非鉄金属工業
- 生産で低下した業種…自動車工業、電気・情報通信機械工業、化学工業（除、無機・有機化学工業）ほか10業種
- 製造工業生産予測調査によると、6月は前月比+5.6%の上昇、7月は同▲0.6%の低下見込み

●新車販売台数

■車種別販売台数【6月】

	台数 (台)	前年同月比 (%)
普通自動車等販売台数	259,794	+31.5
軽自動車販売台数	132,925	+2.0

(日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会調べ)

- 6月の普通自動車等販売台数は前年同月比6か月連続の増加、軽自動車販売台数は10か月連続の増加
- 国内新車販売台数（軽自動車を含む）は392,702台（前年同月比+19.8%）で10か月連続の増加

●全国百貨店・スーパー等大型チェーン売上高

■全国百貨店【6月】

(店舗調整後)

		売上高 (億円)	前年同月比 (%)
売上高総額		4,412	+7.0
主要5品目	衣料品	1,144	+8.8
	身のまわり品	702	+10.4
	雑貨	893	+12.0
	家庭用品	146	▲2.2
	食料品	1,260	+0.9

(日本百貨店協会調べ)

- 6月の売上高は16か月連続の増加
- 顧客別では、国内市場は前年同月比+1.8%で16か月連続の増加、インバウンドはほぼコロナ前の水準に戻り、同+320.3%で15か月連続の増加
- 地区別では、10都市が前年同月比+10.1%で21か月連続の増加、10都市以外が同▲1.9%で2か月連続の減少

■スーパー等大型チェーン【6月】

(店舗調整後)

		販売額 (億円)	前年同月比 (%)
総販売額		10,809	+2.1
部門別	食料品	7,537	+3.7
	衣料品	654	▲2.0
	住関連品	2,129	+4.4
	サービス	20	▲7.6
	その他	467	▲20.7

(日本チェーンストア協会調べ)

- 総販売額は前年同月比で4か月連続の増加
- 食料品は節約志向の高まりから買い控えが続いているが、店頭価格の上昇により農産物を除き売上は伸びた
- 衣料品は昨年の反動もあり動きが鈍く、住関連品はまずまずの動きだった

●住宅着工戸数

■建築着工統計調査報告【5月】

	戸数(戸)	前年同月比(%)
総戸数	69,561	+3.5
利用関係別	持家	▲11.5
	貸家	+10.5
	分譲住宅	+9.1
	マンション	+28.2
	一戸建	▲2.5

(国土交通省調べ)

5月の総戸数は4か月ぶりの増加

前年同月比は持家は18か月連続の減少、貸家は先月の減少から再びの増加、分譲住宅は4か月ぶりの増加、分譲住宅のうち、マンションは先月の減少から再びの増加、一戸建住宅は7か月連続の減少

地域別総戸数は首都圏(前年同月比+13.7%)、中部圏(同▲5.6%)、近畿圏(同+9.9%)、その他地域(同▲5.2%)

●設備投資

■工作機械受注(速報値)【6月】

	受注額(百万円)	前年同月比(%)
受注総額	121,158	▲21.7
内需	41,096	▲29.9
外需	80,062	▲16.7

(日本工作機械工業会調べ)

6月の受注総額は6か月連続で前年同月を下回ったものの、好不況の目安とされる1,000億円を29か月連続で上回った

●倒産状況

■企業倒産整理状況【6月】

	倒産件数	負債総額
	770件	1,509億円
前月比	+9.0%	▲45.8%
前年同月比	+41.0%	▲87.7%

(東京商工リサーチ調べ)

倒産件数は15か月連続で前年同月を上回った

負債総額は3か月ぶりに前年同月を下回った

新型コロナウイルス関連倒産は302件発生

県内経済の動き

●県内の経済情勢(日本銀行松本支店)【7月】

《総括判断》⇒「生産に弱めの動きがみられるものの、持ち直している」

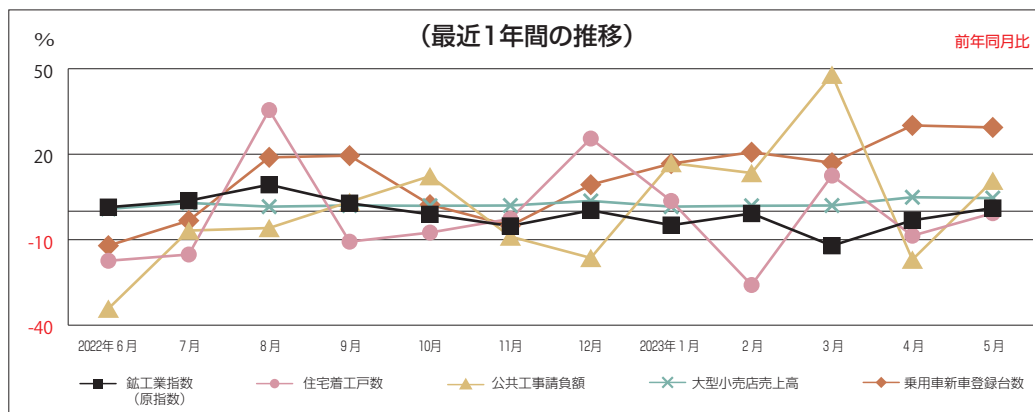
「総括判断」は昨年5月に発表し据え置いていた概況判断の表現を14か月ぶりに修正した

個別の判断は個人消費について「緩やかに増加している」として上方修正、その他の項目については前回判断を据え置いた

(設備投資) ⇒ 増加している	(個人消費) ↗ 緩やかに増加している
(住宅投資) ⇒ 弱含んでいる	(公共投資) ⇒ 横ばい圏内の動きとなっている
(生産) ⇒ 弱めの動きとなっている	(雇用・所得) ⇒ 持ち直している

↗…前回から上方修正 ⇒…前回判断を据置 ↘…前回から下方修正

県内主要経済統計の推移



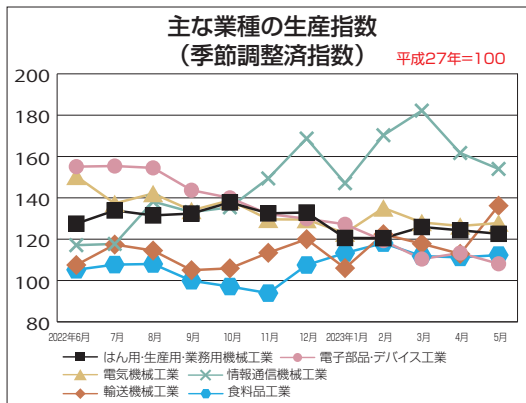
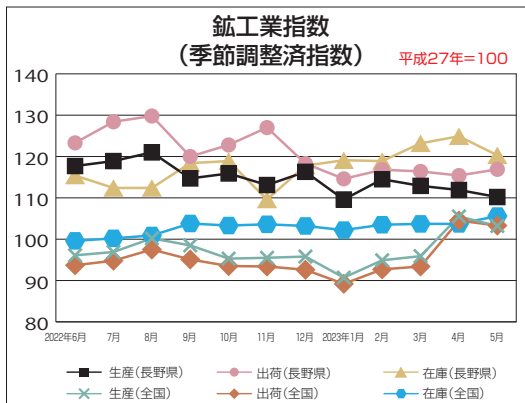
県内の産業動向

製造業

■鉱工業指数 (速報) 【5月】 平成27年(2015年) = 100

	季節調整済指数		原指数	
	指数	前月比 (%)	指数	前年同月比 (%)
生産	110.2	▲1.6	104.9	+1.1
(前月確報)	(112.0)	(▲0.4)	(113.1)	(▲3.6)
出荷	116.9	+2.6	110.4	▲0.8
(前月確報)	(113.9)	(▲2.1)	(114.7)	(▲7.1)
在庫	120.3	▲0.1	120.1	+10.8
(前月確報)	(120.4)	(+2.6)	(118.8)	(+10.2)

- 前月比 (季節調整済指数) で、生産は3か月連続の低下、出荷は3か月ぶりの上昇、在庫は3か月ぶりの低下
- 前年同月比 (原指数) で、生産は5か月ぶりの上昇、出荷は5か月連続の低下、在庫は3か月連続の上昇
- 生産で上昇した業種…輸送機械工業、電気機械工業、食品工業ほか5業種
- 生産で低下した業種…情報通信機械工業、汎用・生産用・業務用機械工業、電子部品・デバイス工業ほか6業種



(経済産業省、長野県企画振興部調べ)

建設業

■新設住宅着工戸数 【5月】

		戸数 (戸)	前年同月比 (%)
住宅着工戸数		973	▲0.7
利用関係別	持家	561	+5.3
	貸家	261	▲5.1
	給与	3	0.0
	分譲	148	▲12.4

(長野県建設部調べ)

- 住宅着工戸数全体は2か月連続で前年同月を下回った
- 利用関係別では、持家は2か月ぶりの増加、貸家は2か月連続の低下、分譲は3か月ぶりの低下

■公共工事動向 【6月】

	件数 (件)	請負金額 (百万円)
国	73	8,115
独立行政法人	4	5,422
県	57	2,450
市町村	211	6,602
地方公社	5	52
その他	8	1,611
合計	358	24,253

(東日本建設業保証調べ)

- 6月の請負件数は前年同月比+10件、請負金額は同+10.7%であった。また、請負金額の発注者別では独立行政法人(前年同月比+401.1%)、国(同+21.4%)、その他(同+355.0%)で前年同月を上回り、県(同▲54.4%)、市町村(同▲20.6%)、地方公社(同▲29.7%)、で前年同月を下回った

小売業

■自動車登録台数 【6月】

	台数 (台)	前年同月比 (%)
普通自動車登録台数	4,446	+29.4
軽自動車登録台数	3,581	▲0.7
全体 (二輪車を除く)	8,167	+13.2
自動車保有台数	1,890,276	+0.4

(北陸信越運輸局長野運輸支局調べ)

- 登録車は6か月連続で増加、軽自動車は12か月ぶりに減少、全体では10か月連続で増加
- 2023年6月末時点における自動車保有台数内訳…登録車948,306台(前年同月比▲0.2%)、軽自動車904,207台(同+1.0%)、二輪車37,763台(同+3.0%)

■大型小売店売上高 【5月】

		売上高 (百万円)	前年同月比 (%)
総売上高		22,844	+4.6
内訳	食品	19,723	+4.8
	衣料品	1,118	+4.8
	雑貨・その他	2,003	+2.5

(長野経済研究所調べ)

- 総売上高は20か月連続で前年同月を上回った
- 食品は、総菜などが堅調だったほか販売価格の上昇などもありプラスとなった
- 衣料品は、気温の上昇などから夏物の出足も良く、雑貨・その他は、身の回り品や化粧品などの売り上げが増加した

県内の雇用情勢

■月間有効求人倍率【5月】 (季節調整値)

	月間有効求人倍率	前月比
長野県	1.47倍	▲0.01pt
全国	1.31倍	▲0.01pt

(厚生労働省・長野労働局調べ)

■新規求人数【5月】 (実数値)

	新規求人数	前年同月比
全数	15,533人	▲5.5%

(長野労働局調べ)

■新規求職者数【5月】 (実数値)

	新規求職者	前年同月比
全数	7,306人	▲0.6%

(長野労働局調べ)

☞ 全国平均を0.16ポイント上回り、全国順位は11位と堅調な推移が続く

☞ 有効求人数(季節調整値)は47,366人で前月比▲2.4%の減少、有効求職者数は32,222人で同▲1.6%の減少

☞ 総括判断「雇用情勢は、堅調に推移している。ただし、物価上昇等が雇用に与える影響を注視する必要がある」

☞ 前年同月比で増加した業種…不動産業・物品賃貸業、生活関連サービス業・娯楽業、その他の産業

☞ 前年同月比で減少した業種…建設業、製造業、情報通信業など

☞ 全数のうち常用は4,264人(前年同月比+1.4%)、パートは3,002人(同▲3.1%)

県内の倒産状況

■企業倒産整理状況【6月】

	倒産件数	負債総額
	4件	593百万円
前月比	▲33.3%	+41.5%
前年同月比	▲20.0%	+63.8%

(東京商工リサーチ調べ)

☞ 地域別では北信、東信がそれぞれ2件

☞ 業種別では医療、福祉事業が2件、農・林・漁・鉱業、宿泊業がそれぞれ1件

☞ 新型コロナウイルス関連倒産は4件

編集後記 地域とともに歩む銀行 ～地域に向けた長野銀行の取り組み～

第7回「夏休み！ながぎんキッズバンクスクール」を開催します

- ・コロナ禍で中止していた「夏休み！ながぎんキッズバンクスクール」を4年ぶりに開催します。
- ・当取り組みは、お子さまに銀行の役割やお金の大切さ等を学んでもらうことを目的として、例年夏休み期間中に開催しています。

名称	第7回「夏休み！ながぎんキッズバンクスクール」
趣旨	小学校の児童が銀行業務の疑似体験等を通じて銀行の役割やお金の流れ等を学ぶことにより、豊かな感性を育むとともに、お金の大切さや正しい使い方を知る機会を提供します。
日時	【松本会場】2023年8月8日(火) 午前10時から12時まで 【長野会場】2023年8月9日(水) 午前10時から12時まで
場所	【松本会場】長野銀行本店(松本市渚2-9-38) 【長野会場】長野銀行長野営業部(長野市大字南長野1126-1)
参加費	無料
内容	☞ 銀行見学・体験 ☞ 1億円の重さ体感 ☞ お金の数え方 等



※今年度の申込は終了しておりますのでご了承ください